

派遣研究員

氏名	英 萄 (Yingtao)
所属	歴史民俗資料学研究所 博士後期課程
派遣期間	2020年2月5日～2020年2月26日
派遣先	ブリティッシュコロンビア大学 アジア学科
研究課題	チベット仏教寺院の比較による考察



カナダにおけるチベット仏教寺院の調査

英 萄

はじめに

チベット仏教には、ゲルク派・カギユ派・サキャ派・ニンマ派の四大宗派がある。これらの宗派の領域は、中国のチベット自治区、青海省、内モンゴル自治区、四川省、甘粛省、雲南省などに及んでいる。また、中国国外では、ネパール、ブリヤート共和国、モンゴル国、ブータンなどで、古くから信仰されてきた。このように、チベット仏教は、アジアの多くの地域に広がっているのである。1950年代からチベット仏教の多くの僧侶は、チベットを出奔し、インドに行っている。そして彼らは、インドを経て西洋の国に留学したため、チベット仏教は西洋にも伝播された。こうして、西洋にチベット仏教センターや伝統的な寺院などが建てられた。

カナダは移民国家のため、アジア系仏教など、さまざまな宗教が共存している。アジア系仏教の中には、中国仏教やチベット仏教もある。チベット仏教の各宗派は、カナダのトロント、バンクーバー、リッチモンドなどの多くの地域に存在し、チベット仏教寺院や仏教センターなどが建てられている。今回はバンクーバーとリッチモンドを中心に、チベット仏教の現状についての調査を行った。

1 リッチモンド市のチベット仏教寺院

カギユ派（「伝承」）はチベット仏教の四大宗派の一つで、「白派」ともいわれる。カギユ派はマルパ（翻訳師）に始まり、比類なき修行と教説の伝統を誇る宗派である（チベット中央政権文部省 2012）。カギユ派の最高位活仏は大宝法王と呼ばれ、現在の大宝法王は第17世で

ある。また、カギユ派には、四大八小の支派がある。中でも、カルマ・カギユ派は最大の支派である。創古寺はカルマ・カギユ派の寺院で、創古リンポチェは創古寺の歴代住持である。創古寺は、青海省、ネパール、インド、ブータン、カナダなどの地域に存在している。これらはすべて、第9世創古リンポチェ（1933年～）により建設された寺院である。

カナダにおける創古寺（Thrangu Monastery）は、ブリティッシュコロンビア州西南部に位置するリッチモンド市にある。北米における、最初の伝統的なチベット仏教寺院である。創古寺は2004年から2009年まで、5年かけて建てられ、2010年7月25日に正式に開かれた。創古寺は、リッチモンド市近郊に位置するチベット式の建築である（写真1）。寺院の入り口を入ると、建物の前に護法神の四大王像が、また、建物の東西両側の壁には、それぞれ36個の転経輪が安置されている。寺院は2階建ての建物で、1階には僧侶の部屋、食堂、図書室、仏教用品を売る店などが併設されている。2階は大雄宝殿になっている。中央に長さ13尺（約4m）の釈迦牟尼仏像が安置され、その後ろには、六つのレリーフが美しくおごそかに飾られている。釈迦牟尼仏像の両側には、35体の仏像が、そして両側の壁には千体の薬師如来像が安置されている。さらに、大雄宝殿の入り口の両側には、200体の阿弥陀仏像が安置されている。それらの仏像は、すべてネパールから運ばれてきたという。また、天井には12種類の菩薩仏像が描かれている。大雄宝殿は、約500人を収容することができる（写真2）。

現在、寺院には住持を含む7人の僧侶が常住してい



る。住持（喇嘛貝瑪次旺 1972年～ネパール出身）は、寺院の行政や宗教活動を管理し、法会講座や仏法修行などを主管している。また、書記、蔵英通訳、仏学教師、チベット語教師などを担当する僧侶がいる。さらに、青海省、ネパールなどほかの創古寺から短期的に来る僧侶もいる。今回は、青海省玉樹自治区の創古寺（禪古寺ともいう）からきた僧侶に、聞き取り調査を行った。

寺院の日常生活では、毎日2回の修行会が行われている。それは、朝9時から1時間にわたり行われる緑度母修行会と、午後4:30から1時間にわたり行われる大黒天（瑪哈嘎拉）修行会の二つである。毎週月曜日

は定休日のため、修行会は行われていない。また、寺院には初心者向けのコースが実施されている。チベット仏教の基礎知識や哲学、さらにチベット語を学ぶコースもある。近年、チベット仏教に関心をもつ人が多くなっている。そうした人たちは、寺院でチベット仏教学を学び、修行に来る（写真3）。これらの人の中には、現地のカナダ人もいるが、在カナダの中国人が多数を占める。寺院では毎年、定期的に仏学講座が開催されている。2020年の寺院の法会や仏学講座は、表1のとおりである。

●表1 2020年創古寺の行事日程表

月	日	活 動
1月	19～23日 25日	大黒天（瑪哈嘎拉）法会 緑度母灌頂
2月	7～9日 24日	白度母法会 チベット暦の新年法会
3月	8日 13～15日	密勒日巴の記念日の法会 薬師如来法会
4月	3～5日 30日	阿弥陀仏法会 浴仏会
5月	15～17日	喇嘛貝瑪次旺の仏学講座
6月	5～7日	Nyungne 法会
7月	10～12日 14～18日 19日	創古リンポチェの年度仏学講座 長寿法会 10周年の大法会
8月	7月31～8月2日 28～30日	仏学講座 阿閼如来仏法会
9月	1～6日 11～13日	翻訳合宿クラス 仏学講座
10月	2～4日 16～18日	仏性に関する講座 法会
11月	7日 20～22日 24日	釈迦牟尼天降日の法会 施身法法会 第9世創古リンポチェ誕生記念日の法会
12月	18～20日 31日	財神法会 祈願法会

（出典：創古寺の配布資料により筆者作成）

2020年には、創古寺で多くの法会や仏学講座が行われる。特に7月25日は寺院の10周年記念日にあたるため、19日には盛大な法会が行われるようである。しかし、新型コロナウイルスの影響により、寺院は4月

から閉鎖されている。現在、寺院が再開する時期は未定である。





●写真1 創古寺（2020年2月18日 筆者撮影）



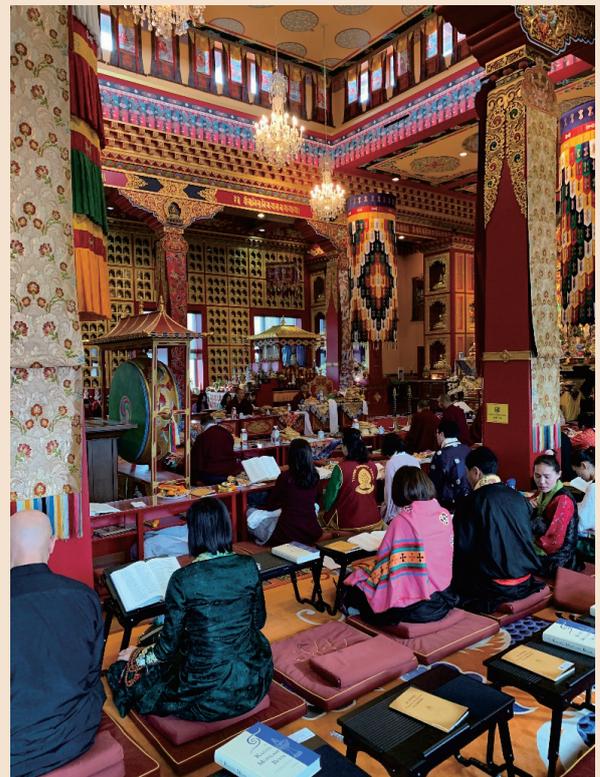
●写真2 創古寺の大雄宝殿（2020年2月18日 筆者撮影）

2 バンクーバー市のチベット仏教寺院

参智寺（Tsengdok Monastery）は、バンクーバー市にあるチベット仏教ゲルク派の寺院である。ゲルク派はチベット仏教四大宗派の最大の宗派で、ツォンカパの開いた宗派である。ダライ・ラマは、ゲルク派の最高位のラマである。周知のように、現在のダライ・ラマ14世は世界各地を訪問し、宗教、仏教に関する講演を行っている。また、2006年には、カナダ名誉市民の称号も得ている。

参智寺は、2006年に参智リンポチェにより正式に開かれた（写真4）。参智寺は、住宅街にある一戸建ての建物で、伝統的な寺院の建築様式ではない。今回の調査では、参智寺の参智リンポチェ（写真5）に聞き取り調査をすることができた。参智リンポチェはチベットからインドのチベット仏教寺院に行き、約10年にわたり修行を続けた。その後2005年に、カナダに定住し、2006年に参智寺を設立したのである。参智リンポチェは次のように語ってくれた。

「この一戸建ては現地の居士から提供されたもので、主に修行する場所である。また、チベット仏教の教えやチベット語などのコースも行っている。毎朝、僧侶たちが読経会をしている。住宅街にあるため、大勢の人々の集まりや宗教活動は行っていない。近隣住民に迷惑をかけるから。しかし、毎年定期的に法会を行っている。参智寺は実際は寺院になっておらず、仏堂である」



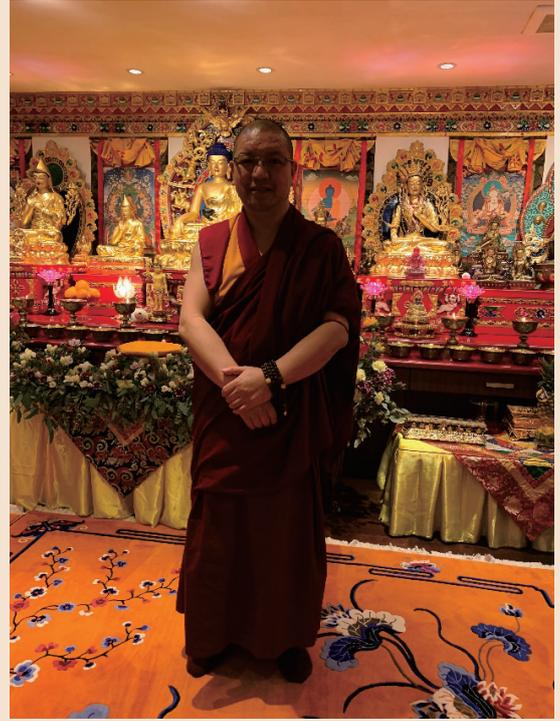
●写真3 僧侶と修行者たちの共同修行（2020年2月24日 筆者撮影）

彼によれば、参智寺は一般には寺院として知られているが、実は仏堂であるという。仏堂には、釈迦牟尼像、ツォンカパ仏像とその2人の弟子の像、十一面千手千眼観音菩薩像、白度母仏像、黄財神像が安置されている。また、ダライ・ラマ14世の画像を祭祀し、さまざまなタンカ（軸装仏画）が安置されている。これらの仏像やタンカは、青海省とネパールから運ばれてきたものである（写真6）。さらに2010年、ネパールのチベット仏教寺院から4人のラマ僧が呼ばれ、参智寺の常住僧





●写真4 参智寺 (2020年2月22日 筆者撮影)



●写真5 参智リンポチェ(2020年2月22日 筆者撮影)



●写真6 参智寺の仏殿 (2020年2月16日 筆者撮影)

侶になった。現在、参智寺において宗教活動は行われていない。ただ、参智リンポチェは、毎年仏教文化活動を組織し、ほかのところで開催しているという。参智寺ではボランティア活動も行われている。ボランティアの人々は概ね中国人で、寺院の掃除や片付け、僧侶の飲食の用意などを行っている。そして、僧侶たちと共に、仏教の修行をするのである。これらの人はボランティア活動を通じ、チベット仏教の理解を深めていく。また、多くの友人をつくっていくのである。寺院はチベットの仏

教、文化などの交流中心ともなっている。

おわりに

20世紀後期からチベットの多くの僧侶がインドを経由して西洋へ留学し、チベット仏教は西洋に伝播した。そして、西洋の多くの地域にチベット仏教センター、チベット仏教寺院が建設され、チベット仏教はグローバル化してきた。カナダには、チベット仏教のゲルク派、カギュ派、ニンマ派が存在している。今回は、ゲルク派と



カギユ派の寺院を調査することができた。ただし、ニンマ派についての調査は実施できなかった。

調査によると、ゲルク派とカギユ派の寺院には、仏殿の中に祭祀されている仏像の種類や供物、経文、僧侶の服など、さまざまな相違点がある。だが、共通点もある。そのうちの三つの共通点を挙げておこう。

①信者（修行者）が僧侶たちと一緒に読経し、修行する。寺院には、チベット語の経文の発音を、中国語と英語で表した経文がある。その経文はいずれの言語でも、同じくチベット語の発音である。それは大量に印刷され、寺院に置かれている。

②寺院に初心者向けのチベット仏教の仏学のコース、チベット語コースなどが用意されている。寺院は学校の役割を果たしているといえる。

③寺院にボランティア活動がある。寺院には、食事作りや掃除などを担当する僧侶がいない。そのため、それらのすべてをボランティアの人々が行っているのである。また、ボランティアの組織も存在する。

これらの共通点は、内モンゴルにおけるチベット仏教寺院では、全くみられないものである。その原因は、チベット仏教の伝播の程度にあると考えられる。チベット

仏教は16世紀に内モンゴルに伝えられた。そしてモンゴル人の信仰と融合し、モンゴル人はチベット仏教の篤い信者になっていったのである。一方、カナダにチベット仏教が伝わったのは、20世紀後半である。カナダの人々にとっては、新しい宗教である。実際、カナダ人の大半は、チベット仏教の信者にもなっていない状況である。現状から見ると、カナダのチベット仏教寺院はチベット仏教を布教する場所であり、チベットに関する仏教、言葉、文化を教える学校でもある。チベット仏教は、カナダなど、西洋の国においては、まだ伝播の初期の時期にあると考えられる。

【参考文献】

末本文美士 2011『現代仏教の可能性』（新アジア仏教史15 日本V）佼成出版社
チベット中央政權文部省著、石濱裕美子・福田洋一訳 2012『チベットの歴史と宗教』明石書店

【参考 URL】

加西週末 WEST CANADA WEEKLY <http://wcweekly.com>
THRANGU MONASTERY 創古寺 CANADA <http://thrangumonastery.org>

Study of Tibetan Buddhist Monasteries in Canada

Graduate School of History and Folklore Studies Doctoral Program Yingtao

Introduction

Tibetan Buddhism comprises the four major schools of Gelug, Kagyu, Sakya, and Nyingma, which are practiced in various parts of China, including the Tibet and Inner Mongolia Autonomous Regions, and the provinces of Qinghai, Sichuan, Gansu, and Yunnan. The religion has a long history outside China as well, and is practiced across a vast swathe of Asia that includes Nepal, the Republic of Buryatia, Mongolia, and Bhutan.

Since the 1950s, many Tibetan Buddhist monks have left Tibet for India and then traveled on to Western countries to study. Once there, the monks have propagated the Tibetan Buddhism tradition and founded Tibetan Buddhist centers and traditional monasteries.

One such country is Canada. A nation of immigrants, Canada is home to many religions, for instance, Asian Buddhism that includes Chinese Buddhism and Tibetan

Buddhism. Tibetan Buddhist sects are active in many cities across Canada, from Toronto to Vancouver and Richmond, all of which have Tibetan Buddhist monasteries and centers. I conducted a study on the current state of Tibetan Buddhism focusing on the Vancouver and Richmond areas.

1. Tibetan Buddhist Monastery in Richmond

The School of Kagyu (translated as “oral transmission”), also known as the School of White, is one of the four major schools of Tibetan Buddhism. Founded by Marpa (the Translator), the Kagyu sect is famous for its unparalleled traditions of practice and religious teachings (Department of Education, Central Tibetan Administration, 2012) and is currently headed by the 17th Gyalwang Karmapa. There are four primary branches and eight secondary branches within the sect, with Karma Kagyu being the largest primary branch.



The temples of Karma Kagyu are called Thrangu Monasteries and their abbot Thrangu Rinpoche. Thrangu Monasteries are found in such areas as Qinghai Province, Nepal, India, Bhutan, and Canada, and were established by the current Thrangu Rinpoche, born in 1933 and the 9th incarnation of his lineage.

Thrangu Monastery Canada is located in Richmond, a southwest city in the province of British Columbia. The first traditional Tibetan Buddhist temple in North America, the monastery was constructed between 2004 and 2009 and officially opened on July 25, 2010. The temple in the outskirts of Richmond (photograph 1) features Tibetan-style architecture.

Upon entering the monastery, you see four great statues of the deities of protection in front of the main building, and its east and west walls are each decorated with 36 pieces of prayer wheels. The building has two stories, with the first floor housing the monk's rooms cafeteria, library, and a shop selling Buddhist items, and the second floor featuring the main shrine hall (Lhakhang). In the center of the hall sits a 13-foot-tall (approx. 4 meters) statue of the Shakyamuni Buddha, with six beautiful, majestic relief ornaments at its back. The statue is flanked by 35 Buddha of Confession statues on either side. A total of 1,000 Medicine Buddha statues also line the walls on two sides of the shrine hall, while 200 Amitabha statues grace either side of the hall's entrance. All these Buddha statues are said to have come from Nepal. The main shrine hall, featuring paintings of 12 mandalas

on its ceiling, accommodates up to 500 people (photograph 2).

At present, Thrangu Monastery Canada operates with seven resident monks, including the abbot, Lama Pema Tsewang, born in 1972 in Nepal. Lama Pema manages the monastery's administrative operations and religious activities as well as supervises the prayer services and Buddhist teachings. The other monks serve as the secretary, Tibetan-English interpreter, Buddhism teacher, and Tibetan language teacher. At times, monks from Thrangu Monasteries in other parts of the world, such as Qinghai Province or Nepal, visit on a short-term basis. I interviewed one such monk from the Thrangu Monastery in Yushu County, Qinghai Province, for this study.

At Thrangu Monastery Canada, hour-long practices are held twice a day—the Green Tara Practice at 9:00 am and the Mahakala Practice at 4:30 pm—every day but Mondays when the monastery is closed. The monastery offers classes for people new to Tibetan Buddhism, such as an introductory class on Tibetan Buddhism, along with courses on philosophy and the Tibetan language. Interest in Tibetan Buddhism has been growing in recent years, as is the number of people coming to the monastery to learn about the religion and take part in its practices (photograph 3). Some visitors are local Canadians, but most are Chinese people residing in Canada. In addition to the daily routines, the monastery also hosts annual practices, retreats, teachings, and prayers. The events scheduled for 2020 are summarized in Table 1 below.

● Table 1 : Thrangu Monastery Events in 2020

Month	Day	Events
January	19–23 25	5-day Makahara Prayer Chinese New Year's Green Tara Empowerment
February	7–9 24	White Tara Practice Tibetan New Year's Celebration
March	8 13–15	Marpa & Milarepa's Anniversary Medicine Buddha Retreat
April	3–5 30	Amitabha Practice Buddha's Birthday
May	15–17	Karma Chakme's Mountain Dharma with Dungse Lama Pema
June	5–7	Nyungne Fasting Retreat



July	10–12 14–18 19	Thrangu Rinpoche’s Annual Teaching Annual Long-Life Prayers 10th Anniversary of TMA
August	July 31–Aug 2 28–30	Khenpo Chonyi’s Teaching Akshobhya Retreat
September	1–6 11–13	Translation Workshop Khempo Sonam’s Teaching
October	2–4 16–18	Khempo Choephel Teaches on Buddha Nature Karma Pakshi Practice
November	7 20–22 24	Buddha Shakyamuni’s Descent from Tushita Heaven Chod Practice V. V. 9th Khenchen Thrangu Rinpoche’s Birthday
December	18–20 31	Dzambhala Practice Lamp Prayer for World Peace

(Created by the author. Source: Thrangu Monastery Canada pamphlet)

Many practices and other events are planned for 2020. An especially grand practice session is planned for July 19 to celebrate the monastery’s tenth anniversary on July 25, but the monastery has been closed since April 2020 due to the coronavirus pandemic. The date of reopening is presently unknown.

2. Tibetan Buddhist monastery in Vancouver

Tsengdok Monastery is a temple of the Gelug sect of Tibetan Buddhism. The largest of the four main schools of the Tibetan Buddhist tradition, the sect was founded by Lama Je Tsongkhapa and its supreme leader is the Dalai Lama. As we all know, the current Dalai Lama, who is the 14th Dalai Lama, travels extensively around the world giving lectures on religion and Buddhism. In 2006 he was presented with honorary Canadian citizenship.

Tsengdok Monastery (photograph 4) was founded in 2006 by Tsengdok Rinpoche. A one-story house in a residential area, the monastery is not of traditional temple architecture. I had the honor of interviewing Tsengdok Rinpoche (photograph 5) for this research project. Born in Tibet, he moved to India and studied at a Tibetan Buddhist temple for about ten years; he made Canada his permanent home in 2005 and founded Tsengdok Monastery a year later. According to Tsengdok Rinpoche:

This free-standing house was gifted to us by a local lay Buddhist person. The monastery is used mainly for the

practice of Buddhism, but it also offers classes on Tibetan Buddhism and the Tibetan language for the public. Every morning, our monks hold a prayer service. We refrain from having large gatherings or religious activities because the temple is in a residential area and we do not want to disrupt the neighbourhood, but we hold regular prayers and practice sessions every year. Tsengdok Monastery is technically not a monastery but a shrine hall.

Although generally known as a monastery, Tsengdok Monastery is actually a shrine hall, according to the Rinpoche. The shrine hall houses the statues of Shakyamuni Buddha, Je Tsongkhapa and his two disciples, eleven-faced Avalokiteshvara with eleven hands and eyes, White Tara, and Yellow Jambhala Buddha. The building also enshrines a picture of the 14th Dalai Lama and a variety of Thankas, or hanging scrolls of Buddha paintings. The Buddha statues and Thankas came from Qinghai Province and Nepal (photograph 6). In 2010, four Lamas were summoned from the Tibetan Buddhist monastery in Nepal to become resident monks at Tsengdok Monastery. Currently, the temple does not conduct religious activities, but hosts Buddhist cultural activities every year at other locations. The monastery is supported mostly by Chinese volunteers, who clean, organize, and prepare meals and drinks for the monks, and also participate in Buddhist practices alongside the monks. Through these activities the volunteers gain a deeper understanding of



the Tibetan Buddhism tradition as well as make new friends. The monastery serves as a connection point for the local community and Tibetan Buddhism and culture.

Conclusion

Since the latter half of the 20th century, a great number of Tibetan monks have traveled to India and then on to Western countries to study and disseminate Tibetan Buddhism. As a result, Tibetan Buddhism has become a global religion, with Tibetan Buddhist centers and monasteries built in many parts of the Western world. Canada is home to monasteries of the Gelug, Kagyu, and Nyingma sects, and I was able to conduct research on the first two.

My research identified several differences between the Gelug and Kagyu monasteries, such as the types of Buddha statues and offerings enshrined, the sutras, and the monks' clothing. But there were some common features as well, of which I list three:

- (1) Buddhist followers (practitioners) recite sutras and practice with the monks. The monasteries have texts indicating the pronunciation of the Tibetan sutras in English and Chinese characters. Both versions equally help the practitioners recite sutras in the Tibetan language and are abundantly available.
- (2) The monasteries offer beginner courses on Tibetan Buddhism and language and serve as schools.
- (3) Volunteers help run the monasteries. The monks are not responsible for cooking meals and cleaning; these chores are performed by volunteers.

There are volunteer organizations within the monasteries.

These features common to monasteries in Canada are hardly found at Tibetan Buddhist monasteries in the Inner Mongolia Autonomous Region. This difference can be explained by how Tibetan Buddhism was established in each region. Tibetan Buddhism first arrived in Inner Mongolia during the 16th century and melded with the local faith, and over time Mongolians became earnest Tibetan Buddhist followers. Whereas in Canada the religion made its first appearance in the late 20th century. For Canadians it is a new faith and the vast majority are not followers. Presently, the Tibetan Buddhist monasteries in Canada are places where Tibetan Buddhism is introduced to Canadians as schools teaching Tibet's religion, language, and culture. It is fair to say that Tibetan Buddhism is still in the early stage of propagation in Western countries such as Canada.

References

- Sueki, F. (Ed.) (2011). *Contemporary Japanese Buddhism and Its Potential. A New History of Buddhism in Asia 15, Japan V.* Kosei Publishing.
- Ministry of Education, Central Tibetan Administration (2012). *Tibet no rekishi to shukyo* [History and Religion of Tibet] (Ishihama, Y. and Fukuda, Y., Trans.). Akashi Shoten Publishing.

Online Resources

- WEST CANADA WEEKLY <http://wcweekly.com>
- THRANGU MONASTERY CANADA <http://thrangumonastery.org>

